

STAR

ブロードカスタ

取扱説明書・部品表

製品コード K30338 ・ K30339
型 式 MBC5540 ・ MBC5541

製品コード K30340 ・ K30341
型 式 MBC8040 ・ MBC8041

部品供給型式 ABU5040-02

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

SFAIR

⚠️ 安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、⚠️ 印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

⚠️ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

⚠️ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠️ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

⚠️ 注意

本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行ってください。
2. 酒を飲んだとき、過労さみ、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずP.T.Oなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。

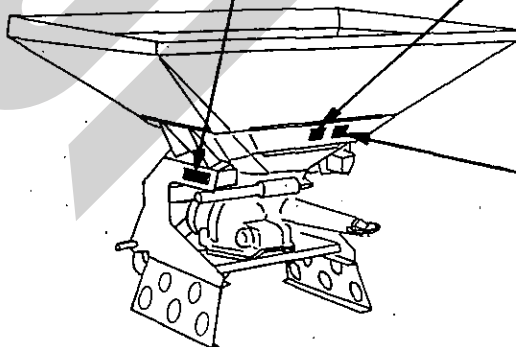
部品番号 106164

⚠️ 注意

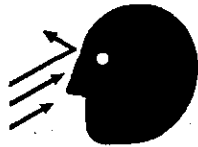


運転中又は回転中、スバウト揺動部に手を入れると叩かれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106420



⚠️ 注意



散布作業中、飛散物が当たり、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106421

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行くと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主変速レバーを「N」（中立）にして行ってください
- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。PTOを切ってから始動してください。

- エンジンを始動する時、作業機を下限まで降ろして行わないと、不意に降下または上昇して、周囲にいる人がケガをする事があります。
作業機を下限まで降ろして行ってください。
- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。
- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸などを開け、十分に換気してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に入っていると、挟まれてケガをする事があります。
トラクタと作業機の間に入らないでください。

▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故をまねく事があります。
トラクタへバンパーウェイトを取り付け、バランスを取ってください。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けずに使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転し

ない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車輛法に違反します。
トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。
トラクタには、運転者以外の方は乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速走行してください。
- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。

周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。

- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。

路肩は走行しないで下さい。

- 高低差が大きい段差を乗り越えようとすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。
作業機の上には、人や物などはのせないでください。

▲注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時は、PTOを切ってください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- 運転中又は回転中、スパウト揺動部に手を入れると叩かれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。
作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおいてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転すると、思わぬ方向へ暴走し、

事故を起こす事があります。

しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 散布作業中、飛散物が当たりケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

本機から離れる時は

▲警告

- 本機から離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- 本機から離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。
下限まで降ろしてから本機を離れて下さい。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検をするときは

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 3点リンクで本機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

も く じ



安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

1

トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	8	5 パワージョイントの装着	10
2 適応トラクタの範囲	9	1. 長さの確認方法	10
3 組立部品	9	2. 切断方法	11
4 トラクタへの装着	10	3. 安全カバーの脱着方法	11
		4. パワージョイントの連結	11

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	12	2 エンジン始動での点検	12
1. トラクタ各部の点検	12	3 給油箇所一覧表	13
2. 連結部の点検	12		
3. 製品本体の点検	12		

3

作業の仕方

1 本機の使用目的	14	3 作業要領	15
2 作業のための調整	14		

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ 15

2 トラクタからの切り離し 15

3 長期格納する時 16

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 16

6 不調時の対応

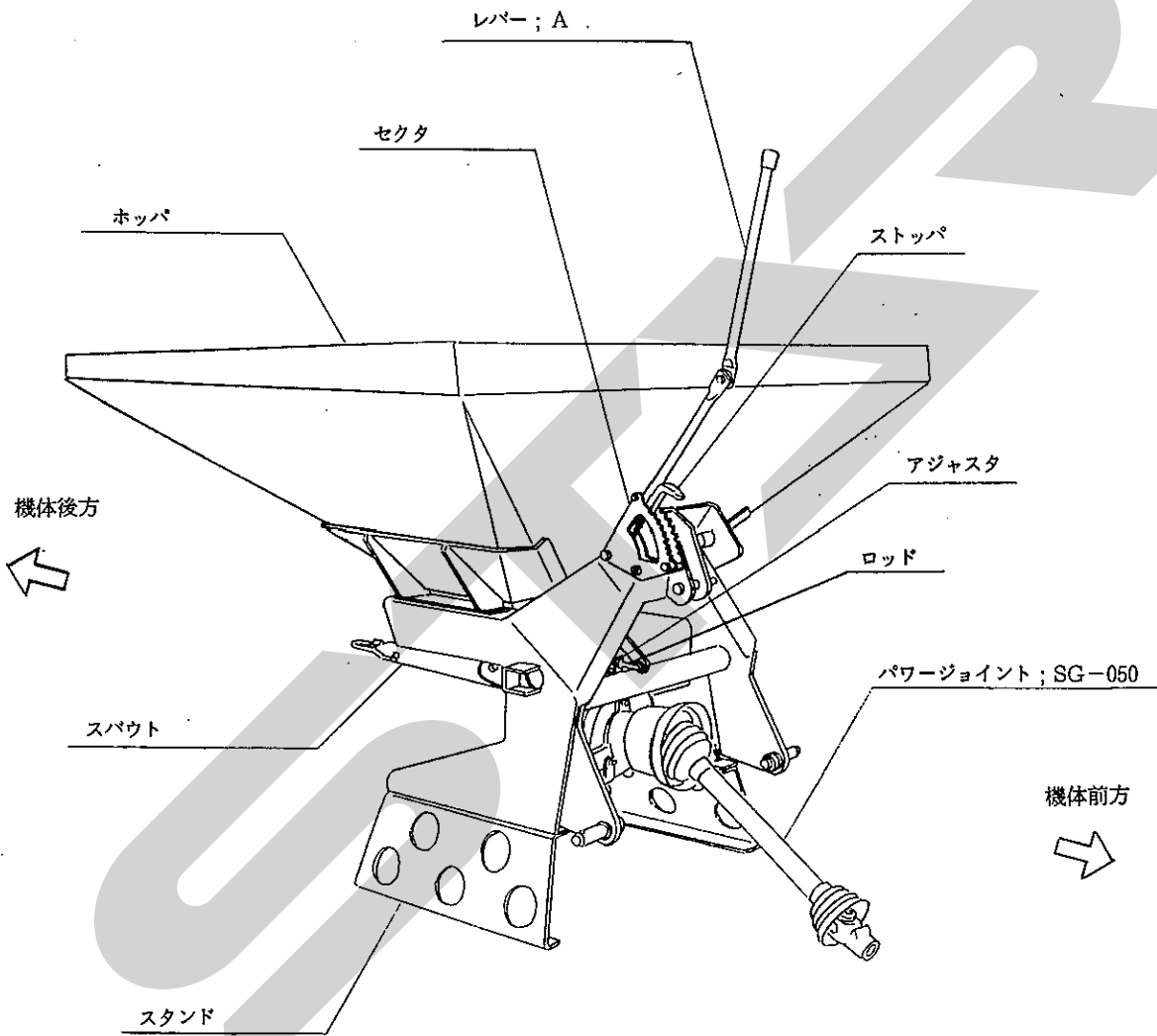
1 不調処置一覧表 17

7 部品表 18

1 トラクタへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



1. レバー ; A

肥料、石灰等の散布開始及び終了をこのレバーの押し引きにより行います。

前に引くと散布口が開き、カラー (35028) に当たるまで後に押しと散布口が閉じます。

2. ストップ

肥料等の散布時、散布量を調節するためのもので、開度調節が10段階に設定できます。

全閉時、レバーのもどり止めのため、ストップをセクタの一番後側にセットしてください。

3. ロッド

レバー ; A全開時に落下口が全開となるように、アジャスタを固定しているナット ; M10で微調整します。

4. パワージョイント ; SG-050

トラクタからブロードカスタのスパウトおよびホッパ内のスクレーパを駆動します。

2 適応トラクタの範囲

▲ 注意

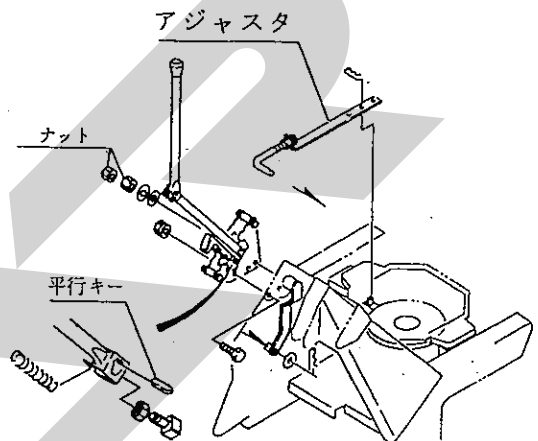
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故を招く事があります。
トラクタへバンパーウエイトを取りつけ、バランスを取ってください。

型 式	適応トラクタ馬力(PS)
MBC5540 MBC5541	45~
MBC8040 MBC8041	55~

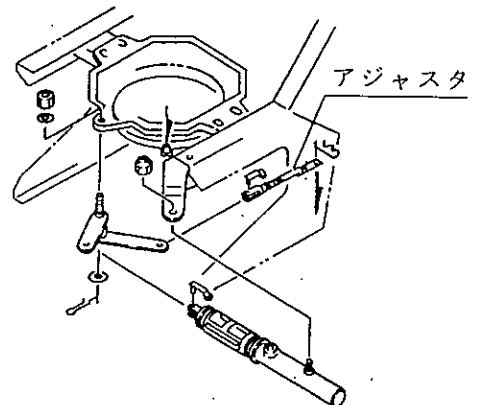
3 組立部品

1. 木枠に固定している部品をほどいてください。
2. 梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。
3. 梱包明細及び部品表に従って部品を組み付けてください。

尚、散布量を調節するアジャスタは、図に基づき本機に取付けてください。



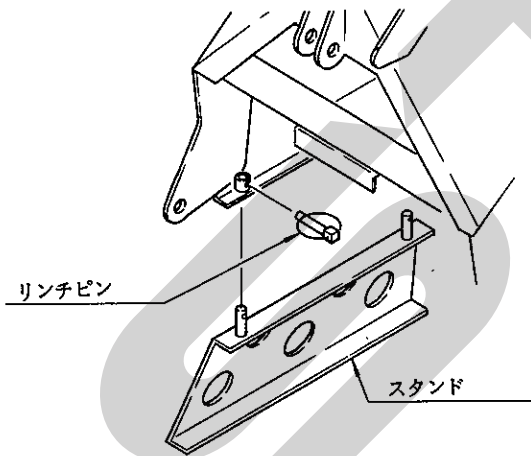
シュドウレバー



ユアツレバー

4 トラクタへの装着

1. トラクタ3点リンクとブロードカスタの3点フレームを連結します。
 - 1) トラクタのエンジンを始動してブロードカスタの左右のローリンクピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめてください。エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
 - 2) 左のローリンクを連結し、抜け止めにトラクタに付いているリンチピンをローリンクピンに差ししてください。
次に右のローリンクも同じ順序で行ってください。
 - 3) トップリンクを連結し、トップリンクピン；I・IIで固定し、抜け止めにベータピンを差ししてください。
 - 4) 左右のローリンクが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。
 - 5) P I C軸芯がトラクタ中心におおよそ一致するよう、チェックチェーンでセットし、本機の横振れをなくしてください。
 - 6) リンチピンを抜き、スタンドを外してください。



- 7) 肥料落下口が地上より60~70cmの高さになるようトラクタの油圧レバーを操作し本機を持ち上げてください。このとき、横方向から見て、ブロードカスタが垂直になるようにトップリンクの長さを調整してください。
- 8) シャッターの開閉をシュドウレバーで行う時は、本機を上昇させた時、シュドウレバーがキャビンや背中に当たらない範囲内で、操作のし易い位置を確認し、ボルトで固定してください。

5 パワージョイントの装着

▲ 危険

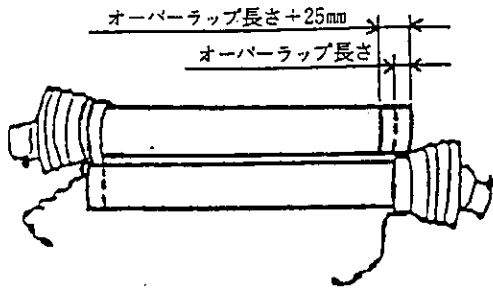
- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンを止めて行なってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲ 注意

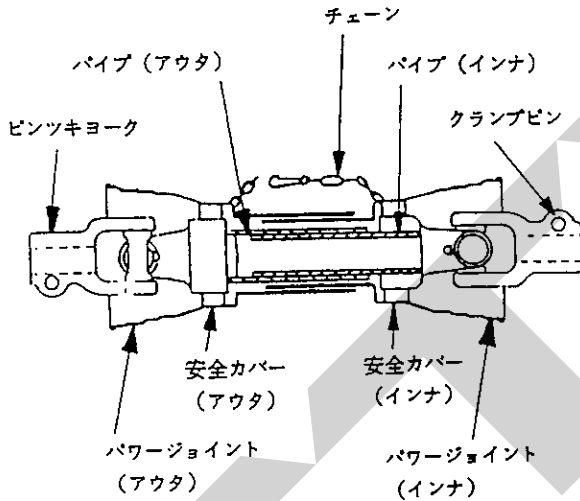
- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。適正な重なり量で使用してください。

1. 長さの確認方法

- (1) パワージョイント（アウト）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (2) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とP I C軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (3) ピン付きヨークのクランプピンを押してPTO軸・P I C軸に連結し、クランプピンが元の位置に出るまで押し込んでください。
- (4) 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウト）と安全カバー（インナ）がオーバーラップした長さに25mmを加えた位置に印を付け、この印からカバー端部までの長さを切断方法の手順に従って切断してください。

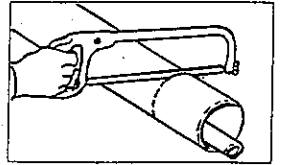


- (5) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPTC軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。
- (6) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプの重なりが100mm以下の場合、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。

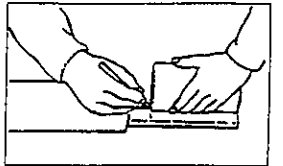


2. 切断方法

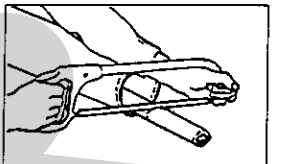
- (1) まず長い分だけ、安全カバーをアウト・インナの両方を切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



- (3) パイプを金ノコまたはカッターでアウト・インナの両方を切断します。



- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げ、グリースを塗布して、アウトとインナを組み合せます。

3. 安全カバーの脱着方法

- (1) 安全カバーからチェーンをはずしてください。
- (2) 安全カバーのチューブ側を固定し、ヨーク側カバーを反時計方向に回転してください。
- (3) ヨーク側カバーをチューブ側に押しとヨーク側カバーが外れます。
- (4) チューブ側カバーをパイプから抜いてください。
- (5) 新しい安全カバーを組み付ける時は逆手順で行ってください。

4. パワージョイントの連結

- (1) ピン付ヨーク (パワージョイント ; インナ) のクランプピンを押して、PIC軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。
- (2) ピン付ヨーク (パワージョイント ; アウタ) のクランプピンを押して、PTO軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

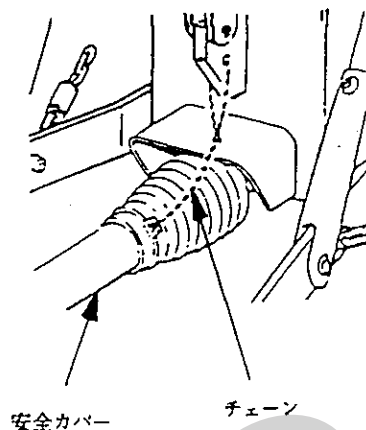
▲ 注意

パワージョイントを接続したら、トラクタPTO側のクランプピンおよびPIC側のクランプピンが溝に納まっている事を確認してから使用してください。

それぞれの溝にきちんと納まっていないと、使用中にパワージョイントが外れ、重大な人身事故になることがあります。

- (3) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

(1) 3点リンクの連結部点検

- ① ローリンク・トップリンクのリンチピン・ベータピンは、確実に挿入されているか。
- ② チェックチェーンは張られているか。
- ③ 不具合が見つかった時は、「1-4 トラクタへの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

(2) パワージョイントの点検

- ① ピンツキヨークの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取り付けに余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。
損傷している時は、速やかに交換してください。
- ④ 不具合が見つかった時は、「1-5-4 パワージョイントの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

3. 製品本体の点検

点検整備一覧表に基づき始業点検を行ってください。

2 エンジン始動での点検

▲ 警告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。
PTOを切ってから始動してください。
- エンジンを始動する時、作業機を下限まで降ろして行わないと、不意に降下または上昇して、周囲にいる人がケガをすることがあります。
作業機を下限まで降ろして行ってください。

1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

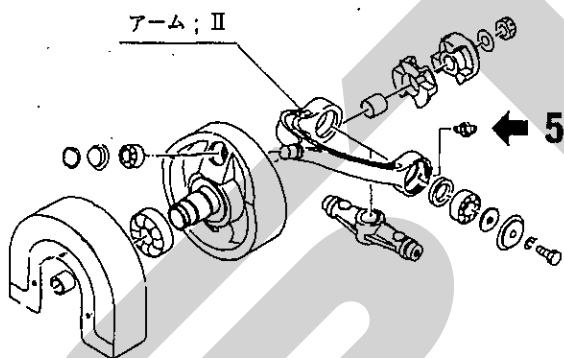
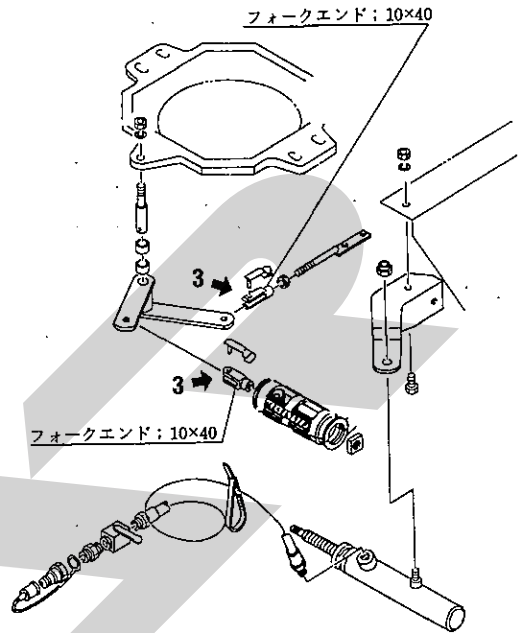
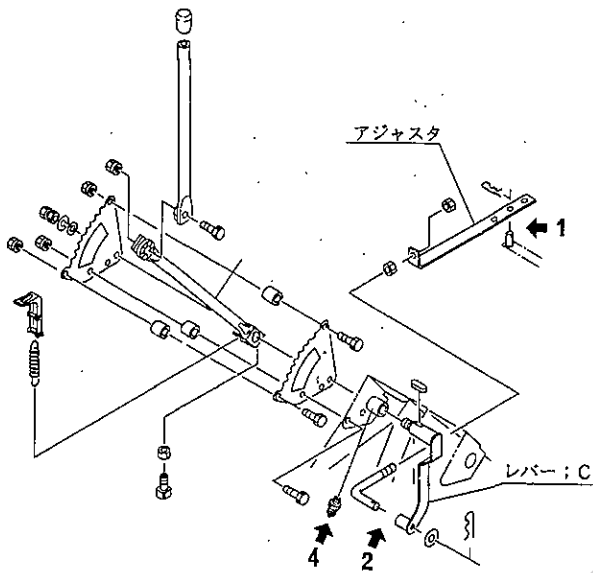
トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、本機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常ありません。

トラクタ油圧系統などに異常がある時は、トラクタ販売店にご相談ください。

3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	アジャスタピン挿入部	1	オイル	使用毎	適量	注油
2	レバー; Cロッド挿入部	MBC 5540 1 MBC 8040 1	〃	〃	〃	〃
3	フォークエンド; 10×40ピン部	MBC 5541 2 MBC 8041 2	〃	〃	〃	〃
4	レバー; 回転部	MBC 5540 1 MBC 8040 1	グリース	〃	〃	給脂
5	アーム; II両側のベアリング部	2	〃	〃	〃	〃
6	パワージョイント	2	〃	〃	〃	〃

3 作業の仕方

1 本機の使用目的

本機は粒状肥料（高度化成など）、砂状肥料（ヨーリンなど）の散布に使用します。

2 作業のための調整

1. PTO回転速度

作業時における、常用PTO回転速度は450～500rpmです。

▲ 注意

- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転速度を守ってください。

取扱い上の注意

散布の際、シャッタを閉じたままPTOを回さないでください。

2. 散布量の調整

散布量の調整は、ストップで10段階に選べます。下記の表を参考にして開度を決めてください。

（例）高度化成（粒状肥料）を10アール当り60kg散布したい場合下記開度の目盛にストップを合わせて作業してください。

（油圧式の場合は、ストップの中心を目盛りに合わせてください。）

トラクタ速度 6 km/hrで開度 5

トラクタ速度 10 km/hrで開度 6

開 度 別 散 布 量

トラクタ速度に応じた散布量

（単位：kg/10a）

肥料	散布幅	速 度	開度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
粒状	9 m	10km/hr	/	4	12	22	40	60	90	120	150	180
		6 km/hr	/	7	20	37	67	100	150	200	250	300
砂状	6 m	10km/hr	10	27	51	84	126	186	270	348	420	500
		6 km/hr	16	45	85	140	210	310	450	580	700	830

3. 地上高と姿勢の調整

粒状肥料、砂状肥料の散布はスパウトまでの高さが60～70cmになるようにトラクタ油圧でセットしてください。

3 作業要領

▲ 警告

- 運転中又は回転中、スパウト揺動部に手を入れると叩かれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。指定回転速度を守ってください。
- ハウス内などの室内作業をする時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。

▲ 注意

- 散布作業中、飛散物が当り、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や回動部がとまっていることを確かめて行ってください。

1. 肥料の投入

移動中の振動による固まりを防ぐため、肥料の投入は圃場に着いてから行ってください。

作業前にホoppa容量と散布量を考慮し、あらかじめ圃場各所に肥料を置いておくと能率の良い作業ができます。

2. 種子の散布

牧草種子及び細粒種子の散播の際には、種子と同比重のもの（例、オガクズ）を増量剤として混合してください。

増量剤を使用せず微量散布しますと散布の均一性が悪くなります。

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ

▲ 注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 3点リンクで本機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

1. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか、また、破損部品がないか確認してください。不具合が見つかった時は、ボルトの増締、部品の補修又は交換をしてください。

2. 作業終了時は、水洗いし、ホoppa内の肥料をきれいに流してください。特にホoppaプレートとディスクプレート間は、水洗い後、ホoppa内の水を切るためディスクプレートは開けてください。

2 トラクタからの切り離し

1. 本機にスタンドを取り付けてリンチピンでとめてください。
2. スタンドが地面に接するまでトラクタの油圧レバーを操作し本機をおろします。トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキを

- かけてください。
3. トラクタPTO軸からパワージョイントを外します。
 4. トップリンクを外し、左右のローリンクを外します。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。

3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントのスプライン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確認して行ってください。
- 作業機を上げた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをします。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。

1 点検整備一覧表

時 間	チェック項目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットの緩み	増し締め
使 用 毎 (始業終業点検)	① 機械の清掃 ・ホッパ内の肥料 ・ディスクプレートとホッパプレート間の肥料 ② 部品脱落・破損部 ③ 各部のボルト・ナットの緩み ④ 各部の油脂類	補充、交換 増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂
シーズン終了後	① 各部の破損、摩耗 ② 各部の清掃 ③ 各部の給油、給脂 ④ 回動支点等の摩耗 ⑤ 塗布損傷部 ⑥ PIC等無塗装部	早めの部品交換 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布 グリースまたは油塗布

6 不調時の対応

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確認して行ってください。
- 作業機を上げた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
シャッタ（ディスクプレート）が動かない。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクプレートとホッププレート間に肥料が詰まる。 • ストップバルブが締まっている。 （ユアツレバー） • 油圧カプラがきちんと接続されていない。 （ユアツレバー） • 回動支点部がさび付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「4-1 作業後の手入れ」に基づき清掃。 • ストップバルブを開く。 • 油圧カプラをきちんと接続する。 • さびを取り除き、グリースを塗布する。
肥料がでない。	使用している肥料の水分が高い。	<ul style="list-style-type: none"> • ホップ内部を清掃し、乾燥した肥料を使用する。

原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）


7 部 品 表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式 (型式)
- ③ 部品名称 (部品表を参照してください)
- ④ 部品番号 (")
- ⑤ 個 数 (")

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「_付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が含まれております。

(例)

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト	2
2	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	6



このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。


3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。


4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)
A; ナット・スプリングワッシャ付
D; ナット2個付
N; ナット付
P; ワッシャ付
W; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の・は、以下のことを表しております。

…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

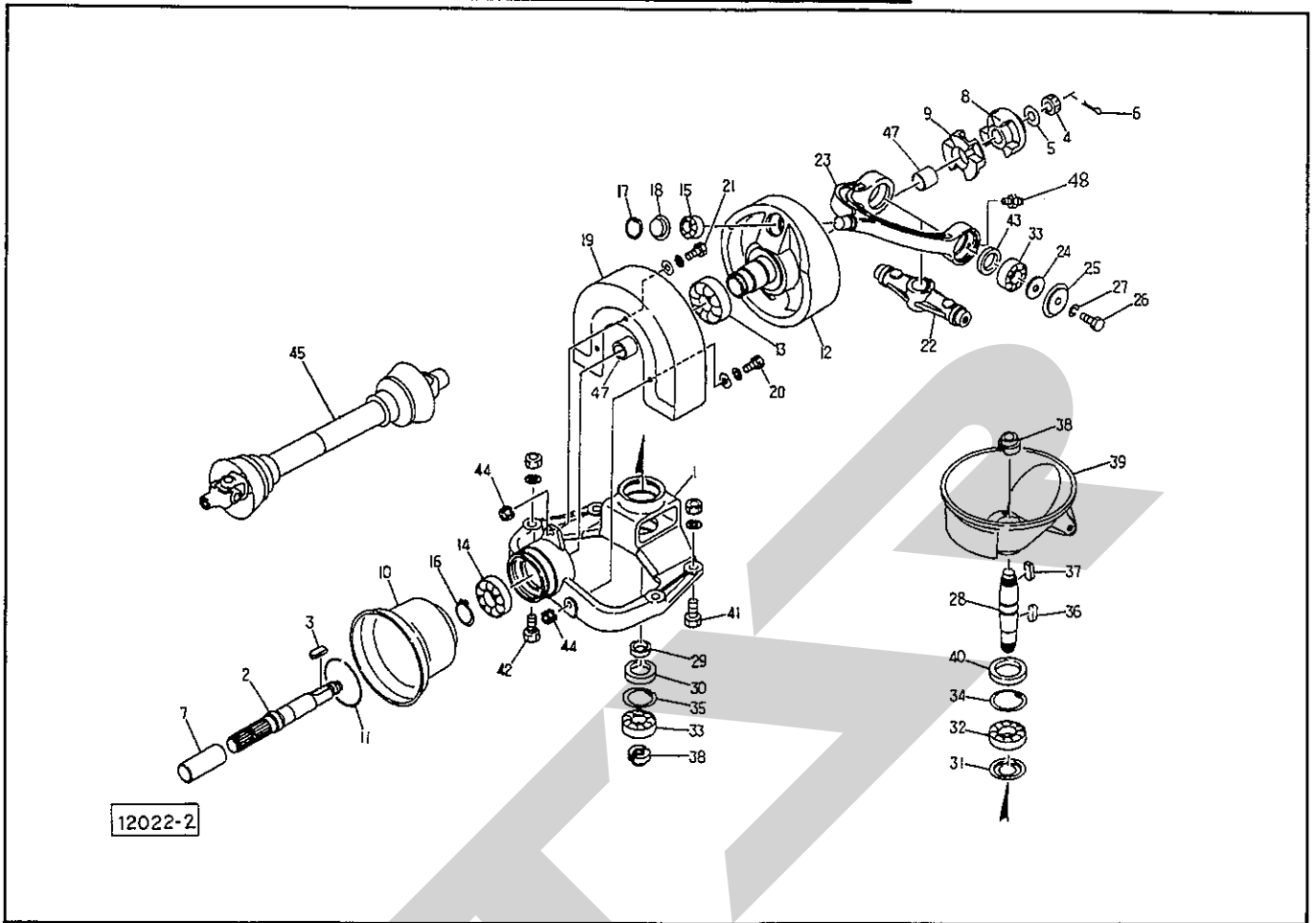
…アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

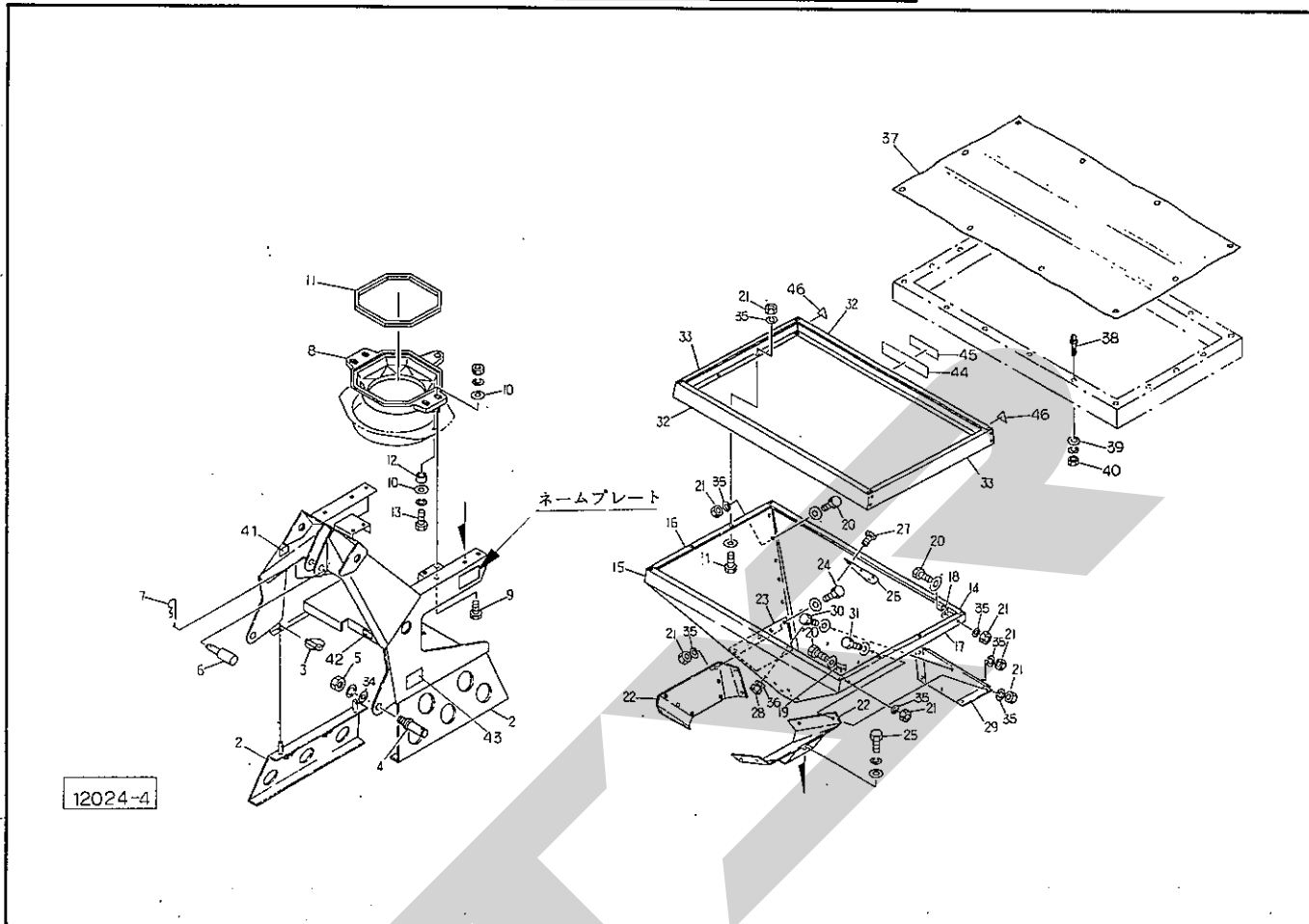
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

MBC 5540・5541・8040・8041 ブロードカスタ ハウジング



見出し番号	部品番号	部品名称	個数	見出し番号	部品番号	部品名称	個数
1	92242	ハウジング	1	26	67856	ボルト; M10×25 (8.8)	2
2	101588	PICシャフト	1	27	WS10G	S ワッシャ; M10	2
3	KFB08070400	キー; 8×7×40 (片丸)	1	28	92281	シャフト	1
4	NC2L20150G	キャップナット; M20×1.5 (2種低型)	1	29	92341	カラー; 30×12	1
5	46001	ワッシャ; 20	1	30	D40628	オイルシール; D 40628	1
6	PC 4025G	ワリピン; 4×25	1	31	85082	カバー	1
7	00096	PICキャップ	1	32	J 6207LLU	ベアリング; 6207 LLU	1
8	101587	カップリング	1	33	J 6206LLU	ベアリング; 6206 LLU	3
9	92243	ゴムカップリング	1	34	DHC72	スナップリング; H 72	1
10	63972	PICカバー	1	35	DHC62	スナップリング; H 62	1
11	00826	リング; L	1	36	KFC10080400	キー; 10×8×40 (両丸)	1
12	101589	フライホイール	1	37	KFC10080350	キー; 10×8×35 (片丸)	1
13	J 6011LLU	ベアリング; 6011LLU	1	38	82316	カシメロックナット; M25×1.5	2
14	J 6010LLU	ベアリング; 6010LLU	1	39	92227	サブホップ	1
15	J 6205LLU	ベアリング; 6205 LLU	1	40	92340	ダストシール	1
16	DC50	スナップリング; S 50	1	41	BZ1460AG	ボルト; M14×60 (8.8)	2
17	DHC52	スナップリング; H 52	1	42	BZ1445AG	ボルト; M14×45 (8.8)	2
18	43116	シールハウジング; 3	1	43	D40558	オイルシール; D 40558	2
19	92262	カバー; フライホイール	1	44	NP08G	スプリングナット; M8	3
20	BZ0850PWG	ボルト; M8×50 (8.8)	2	45	00612	パワージョイントSG-050	1
21	BZ0825PWG	ボルト; M8×25 (8.8)	1	47	LFB3525	ドライメットLFブッシュ; LFB-3525	2
22	92229	アーム; I	1	48	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	2
23	92230	アーム; II	1				
24	75397	ワッシャ	2				
25	92339	カバー	2				

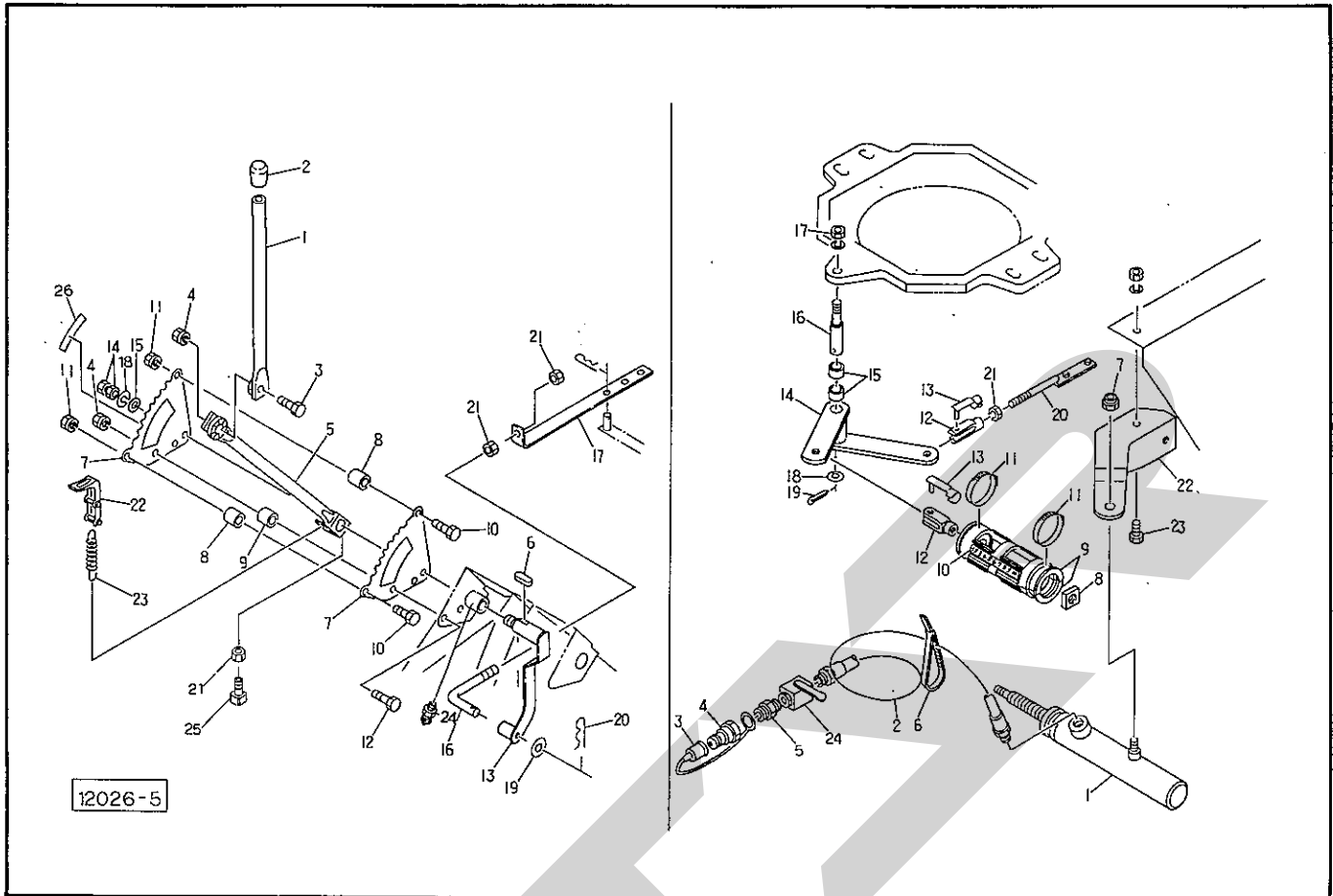
MBC 5540・5541・8040・8041 ブロードカスター
 フレーム・ホッパフランジ・ホッパ・サブホッパ



見 番 号	部品番号	部 品 名 称	個数	見 番 号	部品番号	部 品 名 称	個数
1	BC0816P	ボルト; M8×16 (ステンレス)	28	26	92363	プレート; F-550	1
2	92291	スタンド	2	27	BC1025	ボルト; M10×25 (ステンレス)	4
3	00739	リンチピン; 9	4	28	NAS10	ナット; M10 (ステンレス)	4
4	00011	ローリンクピン; II	⑤5付	29	92383	サポート	1
5	NZ24150WG	ナット; M24×P1.5 (8.8)	2	30	BC0820P	ボルト; M8×20 (ステンレス)	2
6	00098	トップリンクピン; I・II	⑦7付	31	BC0825P	ボルト; M8×25 (ステンレス)	4
7	00088	ベータピン; 19×3	1	32	93003	サブホッパ; 800 MBC8040・8041用	2
8	92303	ホッパフランジ; S	1	33	93004	サブホッパ; L・R-800 MBC8040・8041用	2
9	BC1035A	ボルト; M10×35 (ステンレス)	4	34	WRA 24G	ワッシャ; M24	2
10	82296	ワッシャ; 10 (ステンレス)	6	35	WSC08	Sワッシャ; M8 (ステンレス)	98
11	92352	ゴムプレート	1	36	WSC10	Sワッシャ; M10 (ステンレス)	4
12	82290	カラー	2	37	94454	カバー; 5500 MBC5540・5541用 ※	1
13	BC1035W	ボルト; M10×35 (ステンレス)	2		47150	カバー; 8000 MBC8040・8041用 ※	1
14	92357	ホッパ; Re-550	1	38	65644-6	ヒネリ; オス特4	※ 10
15	92358	ホッパ; F-550	1	39	WRA06G	ワッシャ; M6	※ 10
16	92360	ホッパ; R-550	1	40	NA05WG	ナット; M5	※ 10
17	92359	ホッパ; L-550	1	41	77909	ラベル; 開度別散布量(A)	1
18	92366	アングル; 1	2	42	88977	ラベル; 450~500 rpm	1
19	92367	アングル; 2	2	43	92774	ラベル; トリアツカイチュウイ	1
20	BC0816P	ボルト; M8×16 (ステンレス)	44	44	94323	ストライプラベル; 90×350	1
21	NAS08	ナット; M8 (ステンレス)	98	45	00840	STARマークラベル(赤); 40	1
22	92365	ブラケット; 550	2	46	00330	三角反射プレート(赤)	2
23	92364	プレート; L・R-550	2				
24	BC0820P	ボルト; M8×20 (ステンレス)	20				
25	BZ1440PWG	ボルト; M14×40 (8.8)	4				

※ オプション

MBC 5540・5541・8040・8041 ブロードカスター
 シュドウレバー ユアツレバー



シュドウレバー <MBC 5540、8040>

ユアツレバー <MBC 5541、8041>

見出し番号	部品番号	部品名称	個数	見出し番号	部品番号	部品名称	個数
1	92285	レバー; A	1	1	82278	シリンダ	1
2	00688	ニギリ; 20	1	2	71462	ホース; 1/4×2000	1
3	BZ1045G	ボルト; M10×45 (8.8)	1	3	00776	カプラキャップ; 3/8	1
4	NP10G	スプリングナット; M10	2	4	CLF 30M	カプラ(オス); 3/8	1
5	92286	レバー; B	1	5	KN3020	ニップル; PT3/8×PT1/4	1
6	KFC05050200	平行キー; 5×5×20 (両丸)	1	6	ILT 50 L	インシュロック; T 50 L	1
7	92289	プレート; セクタ	2	7	NN 12 G	ナイロンナット; M12	1
8	35028	パイプ; カラー	2	8	82286	ストッパ	1
9	35189	パイプ; カラー	1	9	82293	ガイドゲージ	2
10	BZ0840G	ボルト; M8×40 (8.8)	2	10	82573	マークラベル	1
11	NP08G	スプリングナット; M8	2	11	82299	ジザイクランプ; 66	2
12	BZ1050G	ボルト; M10×50 (8.8)	1	12	79422	フォークエンド; 10×40	2
13	92287	レバー; C	①14、15付	13	79423	ピン; 10×40	2
14	NZ12G	ナット; M12 (8)	2	14	92311	レバー	①15付
15	42783	ワッシャ; 12	1	15	77409	ブッシュ	2
16	92333	ロッド	①21付	16	82285	バー	①17~19付
17	92332	アジャスタ	1	17	NZ12WG	ナット; M12 (8)	1
18	WS 12 G	Sワッシャ; M12	1	18	WRA16G	ワッシャ; M16	1
19	WRA10G	ワッシャ; M10	1	19	PC5036G	ワリピン; 5×36	1
20	00085	ベータピン; 8×1.6	1	20	92316	アジャスタ	①21付
21	NZ10G	ナット; M10 (8)	3	21	NZ 10 G	ナット; M10 (8)	1
22	35022	ストッパ	1	22	92310	シリンダブラケット	1
23	62688	スプリング; φ8.8×70	1	23	BZ1230AG	ボルト; M12×30 (8.8)	2
24	ONAS 6	グリークニップル; A-M6×1 F型	2	24	00928	ストップバルブ; 1/4	1
25	MB1020	シカクトメネジ; M10×20	1				
26	35112	マーク; 開度調節	1				

SFAA

START

調整

S-960116H

本社	066	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070	旭川市神楽4条9丁目3番31号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富出張所	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-24	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見出張所	090	北見市小泉302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-03	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985	宮城県多賀城市町前2丁目87番地 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	307-02	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-01	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862	熊本県熊本市長嶺町2255-429 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885	宮崎県都城市都北町3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644